



ひよこ組通信

たなばた号
令和3年7月16日
港区立青南幼稚園



6月によくひよこ組がスタートしたばかりでしたが、再度の緊急事態宣言発令により7月14日に予定していたひよこ組は休止になりました。予約をして楽しみにしてくださった方々には、残念な思いでおられると思います。今回の通信は7月7日に実施したひよこ組の様子をお伝えします。

好きな遊び

ひよこ組の部屋に入ってくると、保護者の方が受付を済ませるのも待ちきれずに、ままごと、電車、車、積み木など遊びのコーナーに駆け寄っていきます。目についた遊び、自分の興味のある遊びを始めるとじっくりと落ち着いて遊ぶ様子が見られました。

おもちゃの取り合いになると、お母さんが「お友達も使いたんだって」「こっちにも同じのがあるよ」「一緒に使おう」など、その場に一緒に居る子の気持ちを代弁したり、橋渡ししたりしてあげていました。まだ他の子の存在よりも自分の遊びたい気持ちでいっぱいの子どもたちには、おもちゃの取り合いは自分以外の存在を知る貴重な体験です。



七夕飾り作り ~貝や魚、星型の絵に色を塗って笹に飾りました~

子どもたちは自分の気に入った魚や貝の絵を選び、マーカーで色塗りを楽しんでいました。真っ先に自分の好きな色で塗り始める子、全部の色を一通り選んで塗っていく子、マーカーをお母さんにも渡して親子で一緒に塗ることを楽しむ子などいろいろな姿が見られ、保護者の方はお子さんの取り組みをゆっくり見守っていました。色を塗り終わると保護者の方が切り抜き、こよりを付けて小さな笹の枝に結びました。短冊はお家でゆっくりお願い事を書こうかな…という方もいました。それぞれ作った笹飾りを揺らしながらお家に持ち帰りました。

笹の枝は幼稚園の庭の竹林から切って来たことを知ると、「幼稚園のお庭に竹があるんですか？」と驚かれる方もいました。青南幼稚園の園庭には様々な樹木や草花があります。今度は是非、園庭開放日に遊びに来て見てくださいね。



リズム遊び

遊びの片付けをした後は、みんなで体操やリズム遊びをしました。“ひつつき もつつき”ではリズムに合わせて親子でお腹やおでこなどをくっ付けて触れ合い、“バスにのって”ではお母さんの膝の上で左右に揺れたり上下に飛び跳ねたりして、親子の楽しそうな笑顔がいっぱい見られました。



☆予告☆ 園庭開放

ひよこ組がない水曜日にも幼稚園に来て遊べるよう、未就園児のみなさんに園庭を開放します。一学期はなかなか実施できませんでしたが、9月から再開する予定ですので、どうぞご利用ください。事前予約はいりません。時間になりましたら直接園にいらしてください。

開放日 ひよこ組実施日でない水曜日（夏季・冬季休業期間は休止）

開放時間 14:15～15:30

※雨天中止（14:00時点で雨が降っていたら実施しません）

※園の会議や工事・緊急事態宣言などにより開放できない場合があります。ホームページにてお知らせしますので、事前に必ずご確認ください。

6月30日の園庭開放日には10組ほどの方が遊びに来ました。曇り空の涼しい日でしたので広い園庭を動き回ったり、砂遊びや在園児が栽培している草花や野菜を見たりして過ごしました。そんな中で子どもたちのすてきな一こまをご紹介します。

砂場で遊んでいたAちゃんが友達とぶつかって泣いてしまいました。一緒に遊んでいたBちゃんは少し考えた後、自分が持っていた遊具をそっとAちゃんに渡してあげました。Bちゃんなりの慰め方だったのでしょう。一方、砂場からずっと離れた所にいたCちゃんは泣き声に気付くと「あ、泣いてる子がいる。『いいこ、いいこ』してあげないと！」と言いながら走って行きました。Aちゃんの傍らまで来ると体がかがめてAちゃんの顔を覗き込み、それからAちゃんの頭にそっと手を伸ばして控えめに『いいこ、いいこ』をしてあげました。BちゃんもCちゃんも泣いているAちゃんの気持ちを慮っての行動だったと思います。きっと日頃自分が泣いている時にお家の方からそんな暖かい関りをしてもらっているのでしょうか。泣き止まないAちゃんでしたがお母さんは「良かったね。お友達、やさしいね」とAちゃんにささやきました。その言葉でBちゃんもCちゃんも自分のしたことの意味を改めて認識することになったのではないのでしょうか。

子ども同士の触れ合いの場で、ほっこり素敵な時間を共有しましょう。